

「ピシデヤのアンテオケ」

使徒 13 : 13~22

1. はじめに

- (1) 第一次伝道旅行 (13 : 1~14 : 28) が始まった。
- (2) 訪問地 (地図で確認)
  - ①アンテオケ (使 13 : 1~3)
  - ②セルキヤ (使 13 : 4)
  - ③キプロス島のサラミス (使 13 : 5)
  - ④キプロス島のパポス (使 13 : 6~12)
  - ⑤パンフリヤのペルガ (使 13 : 13)
  - ⑥ピシデヤのアンテオケ (使 13 : 14~52)

2. アウトライン

- (5) パンフリヤのペルガ (使 13 : 13)
- (6) ピシデヤのアンテオケ (使 13 : 14~52)
  - ①会堂訪問 (使 13 : 14~15)
  - ②ユダヤ人の歴史の回顧 (使 13 : 16~22)
  - ③福音の提示 (使 13 : 23~37)
  - ④決心への招き (使 13 : 38~41)
  - ⑤説教に対する反応 (使 13 : 42~52)

結論 : イスラエルの民の歴史から学ぶ教訓

ピシデヤのアンテオケでの伝道について学ぶ。

V. パンフリヤのペルガ (使 13 : 13)

1. 13 節

**Act 13:13** パウロの一行は、パポスから船出して、パンフリヤのペルガに渡った。ここでヨハネは一行から離れて、エルサレムに帰った。

- (1) キプロス島での成功で励まされた一行は、小アジアに渡って行く。
  - ①パポスから小アジアのペルガまでは、約 290 キロの船旅である。
  - ②パウロがリーダーになっている。バルナバの謙遜が見える。
- (2) ここでヨハネが離脱した。
  - ①ルカはその理由を記していない。

②いくつかの理由が考えられる。

\*リーダーシップがバルナバからパウロに移行したので、反発を覚えた。

\*当初はキプロス島だけの予定であったが、小アジアが加わった。

\*小アジアの山岳地帯を旅行することに対する恐れがあった。

\*肉体的に疲労を覚えていた。

\*異邦人伝道が過度に強調され始めた。

③しかし、パウロとバルナバは、そのまま先に進んだ。

## VI. ピシデヤのアンテオケ（使 13 : 14～52）

### VI-1. 会堂訪問（使 13 : 14～15）

#### 1. 14 節

**Act 13:14** しかし彼らは、ペルガから進んでピシデヤのアンテオケに行き、安息日に会堂に入って席に着いた。

(1) ペルガからさらに約 160 キロ北に行くと、ピシデヤのアンテオケに着く。

①東西に延びるタウルス山脈を徒歩で横断した。

②非常に険しい地形で、盗賊が潜んでいた（洞窟が多く存在する）。

③ピシデヤのアンテオケは、海拔約 1000 メートルに位置するローマの植民地。

④この町は、小アジアの東西の交易の中心地であった。

⑤この町には、大きなユダヤ人共同体があった。

(2) すでに確立した宣教の原則に従って、安息日に会堂を訪問した。

①先ずユダヤ人に、次に異邦人に。

#### 2. 15 節

**Act 13:15** 律法と預言者の朗読があつて後、会堂の管理者たちが、彼らのところに人をやってこう言させた。「兄弟たち。あなたがたのうちどなたか、この人たちのために奨励のことばがあったら、どうぞお話しください。」

(1) 会堂での礼拝順序

①礼拝を始めるための儀式的祈り

②「シェマー」

\*「聞け、イスラエルよ。【主】は私たちの神。【主】はただひとりである」

\*申 6 : 4 と民 15 : 37～41 から取られた祈り

③「アミダー」

\*共同体の祈りで、「十八祈祷文」と言われる。

- ④その週に課された「トーラー」からの朗詠
- ⑤その週に課された「ハフタラー」(預言者)からの朗詠
  - \*預言者とは、預言書と歴史書の一部(ヨシュア、士師、サムエル、列王記)
- ⑥短い奨励のメッセージ

(2) 著名なゲストや巡回ラビが出席していた場合、奨励を依頼する習慣があった。

- ①これは、歓迎の意を表明するためである。
- ②また、同じラビの話によって、礼拝がマンネリ化しないためでもあろう。
- ③この日は、パウロとバルナバに依頼があった。
- ④それを受けて立ったのは、パウロであった。

## VI-2. ユダヤ人の歴史の回顧(使13:16~22)

### 1. 16節

Act 13:16 **そこでパウロが立ち上がり、手を振りながら言った。／「イスラエルの人たち、ならびに神を恐れかしこむ方々。よく聞いてください。**

(1) パウロは立って前方に進み、演壇に上って話し始めた。

- ①「手を振りながら」。パウロも典型的なユダヤ人の話し方をしていた。
- ②特に、2種類の聴衆に語りかけ、注意を喚起した。
  - \*イスラエルの人たち(ユダヤ人)
  - \*神を恐れかしこむ方々(神を恐れる異邦人)

(2) ルカはパウロの説教に多くのスペースを割いている。

- ①しかし、これはパウロの説教の一部であり、要約である。
- ②内容は、ステパノの裁判での説教に似ている。
- ③パウロは、ユダヤ人の歴史を要約し、回顧する。
- ④強調点は2点ある。
  - \*神は、常にイスラエルを顧み、その必要に応じてこられた。
  - \*しかしイスラエルは、それに感謝することなく、神に反抗してきた。

### 2. 17節

Act 13:17 **この民イスラエルの神は、私たちの父祖たちを選び、民がエジプトの地に滞在していた間にこれを強大にし、御腕を高く上げて、彼らをその地から導き出してくださいました。**

(1) 神は、その主権によって族長たちを選ばれた。

- ①神は、アブラハムを選び、そこから選びの民をお作りになった。
  - ②神は、族長たち(アブラハム、イサク、ヤコブ)と無条件契約を結ばれた。
  - ③無条件契約とは、アブラハム契約である。
- (2) 神は、エジプトの地において選びの民を巨大な民に育てられた。
- ①しかし彼らは、その地で奴隷となった。
- (3) 神は、選びの民をエジプトから導き出された。
- ①これは、無条件契約の約束の成就である。
  - ②カナン(カナンの)の地は、選びの民に約束された地である。

### 3. 18 節

**Act 13:18** **そして約四十年間、荒野で彼らを耐え忍ばれました。**

- (1) しかし、イスラエルの民は神に感謝することなく、神に反抗し続けた。
- ①荒野で奇跡的に与えられたマナや水に感謝することはなかった。
  - ②また、いつも神に対してつぶやいてばかりいた。
- (2) 民は、不信仰のゆえに荒野を40年間さまようことになった。
- ①民 14:34

**Num 14:34** **あなたがたが、かの地を探った日数は四十日であった。その一日を一年と数えて、四十年の間あなたがたは自分の咎を負わなければならない。こうしてわたしへの反抗が何かを思い知ろう。**

- ②出エジプトの世代は死に絶え、新しい世代の者たちがカナン(カナンの)の地に入った。
- ③この40年間は、神が忍耐された期間である。

### 4. 19 節

**Act 13:19** **それからカナン(カナンの)の地で、七つの民を滅ぼし、その地を相続財産として分配されました。これが、約四百五十年間のことです。**

- (1) 裁きの期間が終わると、神はカナン(カナンの)の地をイスラエルの民に相続財産としてお与えになった。
- ①これは、アブラハム契約の中の土地の約束の成就である。
- (2) その際神は、その地に住んでいた7つの民を滅ぼされた。
- ①申 7:1

**Deu 7:1** **あなたが、入って行って、所有しようとしている地に、あなたの神、【主】が、あな**

たを導き入れられるとき、主は、多くの異邦の民、すなわちヘテ人、ギルガシ人、エモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、およびエブス人の、これらあなたよりも数多く、また強い七つの異邦の民を、あなたの前から追い払われる。

(3) 約 450 年間

- ①これは概数である。
- ②エジプトに寄留した期間（400年）
- ③荒野を放浪した期間（40年間）
- ④カナンの地征服に要した期間（10年）

5. 20～21 節

Act 13:20 その後、預言者サムエルの時代までは、さばき人たちをお遣わしになりました。

Act 13:21 それから彼らが王をほしがったので、神はベニヤミン族の人、キスの子サウロを四十年間お与えになりました。

(1) 神は、土地を与えた上に、神から任命を受けた士師たちを遣わされた。

- ①それでも民は満足しなかった。
- ②彼らは、他の国々のように王を欲しがった。

(2) 神は、預言者サムエルに代わって王をお与えになった。

- ①ベニヤミン族の人、キスの子サウロが王となった。
- ②彼は、40年間イスラエルを統治した。
- ③しかし、サウロは深刻な罪を犯したので、その王朝は断ち切られた。
- ④1サム 13：13～14

1Sa 13:13 サムエルはサウルに言った。「あなたは愚かなことをしたものだ。あなたの神、【主】が命じた命令を守らなかった。【主】は今、イスラエルにあなたの王国を永遠に確立されたであろうに。

1Sa 13:14 今は、あなたの王国は立たない。【主】はご自分の心にかなう人を求め、【主】はその人をご自分の民の君主に任命しておられる。あなたが、【主】の命じられたことを守らなかったからだ。」

6. 22 節

Act 13:22 それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心になかった者で、わたしのところを余すところなく実行する。』

(1) 神は、サウルに代わってダビデを王としてお立てになった。

①神は、ダビデと無条件契約を結ばれた。これがダビデ契約である。

②2サム7:15~16

2Sa 7:15 しかし、わたしは、あなたの前からサウルを取り除いて、わたしの恵みをサウルから取り去ったが、わたしの恵みをそのように、彼から取り去ることはない。

2Sa 7:16 あなたの家とあなたの王国とは、わたしの前にとこしえまでも続き、あなたの王座はとこしえまでも堅く立つ。」

(2) ここで歴史の回顧は終わり、時代は1000年飛んで現代に至る。

①ダビデの子孫イエスの登場

②これ以降、福音の提示に入る

### 結論：イスラエルの民の歴史から学ぶ教訓

#### 1. 強調点は2点ある。

(1) 神は、常にイスラエルを顧み、その必要に応じてこられた。

(2) しかしイスラエルは、それに感謝することなく、神に反抗してきた。

#### 2. イスラエルを「私たち」という言葉に置き換えてみる。

(1) 神は、常に私たちを顧み、その必要に応じてこられた。

(2) しかし私たちは、それに感謝することなく、神に反抗してきた。

#### 3. 神から受けた恵み

(1) 神は、私のような者を選んでくださった。

(2) 神は、私を無条件契約に招いてくださった(新しい契約)。

(3) 神は、私を死の恐怖と罪の束縛から解放してくださった。

(4) 神は、不信仰な私を忍耐深く導いてくださった。

(5) 詩103:1~5

Psa 103:1 わがたましいよ。【主】をほめたたえよ。／私のうちにあるすべてのものよ。／聖なる御名をほめたたえよ。

Psa 103:2 わがたましいよ。【主】をほめたたえよ。／主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。

Psa 103:3 主は、あなたのすべての咎を赦し、／あなたのすべての病をいやし、

Psa 103:4 あなたのいのちを穴から贖い、／あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、

Psa 103:5 あなたの一生を良いもので満たされる。／あなたの若さは、鷲のように、新しくなる。